

“ロータリー平和フェローとなって”（第 2780 地区での講演）

2025 年 3 月 8 日

Uduak Udofia

コメント欄 一覧

（1 ページ）

2024 年 9 月、第 23 期平和フェロー入学式で撮影された写真。

（2 ページ）

アフリカの諺に「早く行きたいなら一人で行け、遠くへ行きたいなら一緒に行け」というものがあります。この諺は、持続可能な影響をもたらすために集団努力が果たす重要な役割を強調しています。持続可能な平和を築くには、全員の共同努力が必要です。

（3 ページ）

私は 2003 年にナイジェリアの法廷に召喚されました。2014 年にロンドン大学クイーン・メアリー校で国際紛争解決を専門とする法学修士号を取得しました。2017 年にはナイジェリアのラゴス多門裁判所から調停人として認定されました。2018 年、私はアフリカの紛争予防と調停におけるアフリカ女性ネットワーク（Femwise Africa）に加入しました。これはアフリカ連合の平和と安全保障体制の重要な柱です。2019 年に

は、クリンゲンドール（オランダ国際関係研究所）で交渉者としての研修を受けました。

（４ページ）

私は 2018 年に WiMNet を設立しました。そのビジョンは、女性の調停者や平和構築者にリソースとスキルを提供し、積極的平和構築への前向きな取り組みを支援することです。当団体には、アフリカのさまざまな国や海外在住の女性 100 人以上が会員として参加しています。2001 年から 2005 年まで、WiMNet は英国政府の紛争安定・安全保障基金から資金提供を受けた女性権利団体の一員として、ナイジェリア南南部における女性・平和・安全保障アジェンダ（WPSA）に基づくコミュニティ平和構築プロジェクトを実施しました。

（５ページ）

英国政府外務英連邦開発庁（FCDO）のリソース変更プロジェクト実施パートナー組織のメンバーであるイエメン、南スーダン、ナイジェリアのメンバーが、地域体験共有イベントでルワンダ（2023 年）で体験しました。残念ながら、紛争の激化により、アフガニスタンでのプロジェクトは中止せざるを得ませんでした。WiMNet は、女性の平和と安全保障の課題をイビビオ地方の方言にローカライズするのを支援するために、平和合唱団チームを結成しました。

(6 ページ)

到着すると、2780 地区委員会、ホストロータリークラブ・茅ヶ崎湘南ロータリークラブのチームが私を温かく迎えてくれました。初めてお好み焼きを味わい、箸も初めて使いました。ホスト カウンセラーの鈴木世界さんにご家族には、私が宿泊先を見つけ、日本での生活に慣れるまでサポートしていただき、感謝しています。

(7 ページ)

オリエンテーションと文化体験プログラムを通じ、私はグローバル三鷹でボランティアとして地元の子供たちに英語の読み方を教えました。また、茶道を体験し、日本文化における茶道の重要性、そして「一期一会」という概念について学びました。異文化交流のこうした手段は、相互尊重を育み、状況に応じた平和構築アプローチを共有するためのプラットフォームとなるため、非常に重要です。

(8 ページ)

アフリカの諺にこうあります。「…指一本では穀物を拾えない…」 これは成功のためのコラボレーションの本質を強調しています。

(9 ページ)

ICU のコース内容は魅力的で、教員は豊富な経験を持っています。平和研究の主要コ

ース以外にも、大学院や研究コースを受講しています。通常、各コースでセミナー プレゼンテーションを行い、最終論文を書きます。コースで議論される問題に、ジェンダーに配慮したアフリカの視点を取り入れています。今学期は、国際機関と平和、紛争と安全保障、法と平和、研究に重点を置いた 2 つのコースを受講しました。

(10 ページ)

2000 年、国連安全保障理事会決議 1325「女性の平和と安全保障 (WPS)」が可決され、紛争が女性に与える不均衡な影響と、紛争解決と平和構築において女性が果たせる役割が認識されました。国連安全保障理事会は、その他の新たな平和と安全保障の脅威を反映するために、他にも 9 つの決議を可決しました。合計 10 の決議は、総称して「女性の平和と安全保障アジェンダ (WPSA)」と呼ばれています。

(11 ページ)

重要な事実: 国連加盟国は、それぞれの状況に応じた女性・平和・安全保障に関する国家行動計画を策定し、実施することが義務付けられています。2024 年 5 月現在、109 か国が女性・平和・安全保障実施に関する国家行動計画 (NAP) を策定しています (右上は国/NAP を示す写真)。ウガンダは、女性・平和・安全保障実施に関する国家行動計画を策定した最初のアフリカ諸国の 1 つです。その NAPIII は 2025 年に期限切れになります。日本は 2015 年に最初の NAP を策定し、現在の NAPIII は 2023 年か

ら 2028 年までです。 女性・平和・安全保障に関する国家行動計画 | 日本外務省

(12 ページ)

WPSA に関する 10 の国連安全保障理事会決議は、効果的な実施と監視のために、参加/予防/保護/救援と復興の 4 つのテーマ別柱に分類されています。WPSA は、前向きな平和の創出を目的とした変革的なアジェンダです。これは、人々が団結して行動を起こし、地球全体、地域社会、そして自分自身の中で永続的な変化を生み出す世界を思い描くロータリーのビジョンと重なります。

(13 ページ)

ロータリーは人道的奉仕、平和構築、コミュニティ開発に重点を置き、紛争の根本原因に取り組んでいます。WPSA は、包括的かつジェンダーに配慮した方法でこれらの理想を実現するためのプラットフォームを提供します。文化、職業、世代を超えて人々が団結し、平和を築くときに起こる「マジック」です。

(14 ページ)

平和フェローには活気のある同窓会グループがあり、私も参加します。ロータリー平和活動グループ (RAGP) で活躍することを楽しみにしています。WiMNet 調停 & 平和構築アカデミーを立ち上げます。

右上は国際ロータリー・アーチック会長の ICU 訪問時に撮影された平和フェロー22

期生・23 期生の写真

(15 ページ)

国家行動計画 (NAP) の形での WPSA のローカリゼーションと実施は、公正で平等な世界を構築する上で、暴力に対処するために使用し得る直接的、構造的、文化的な重要なツールです。

(16 ページ)

この機会を与えてくださった国際ロータリー第 2780 地区の指導者の皆様に感謝申し上げます。お時間を割いていただき、ありがとうございました。